

政策公約対応事業の 取組状況 (任期1年目)

令和4年9月2日

八戸市

対応事業の見方

- ・令和4年7月末を基準日として掲載しています。
- ・対応事業の記載内容は以下のとおりです。

事業00： <事業名称を記載しています>

事業内容	<事業の内容を簡潔に記載しています>
担当課	<担当課を記載しています>
取組詳細	<事業内容に掲げた事項を実現するための、具体的な取組を簡潔に記載しています>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<市長就任 (R3.11.17) から令和4年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。> ※8月以降の実施予定 (確定しているもの) についても記載しています。 <年度ごとの決算額、予算額を記載しています (単位：千円) >
	2年目	
	3年目	
	4年目	

政策1 迅速かつ適切な新型コロナ対策

重点施策1-1

医療提供体制の充実・強化に向けて、入院病床や宿泊療養施設の確保に努めると共に、クラスター発生時の保健所機能・PCR検査体制の強化、迅速なワクチン接種、わかりやすい情報提供に努めるなど、新型コロナ感染症対策に全力を尽くします。

事業1：入院病床・宿泊療養施設確保事業

事業内容	保健・医療体制の維持・強化を図るため、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じ、県や医療機関と連携して、病床及び宿泊療養施設を確保する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	○県の計画に基づき、病床・宿泊療養施設を確保



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設 県内計 5施設 660床 (圏域別数値非公表) ・入院病床数 市内計 4医療機関 102床 →圏域病床使用率 43.9% (市内数値非公表) R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 保健所機能強化事業

事業内容	感染拡大時においても保健所機能を維持するため、新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルを策定するとともに、必要な人材や機材等を確保する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和3年12月17日） ○マニュアルの運用及び検証 ○必要に応じた見直し



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和3年12月17日） ・保健所への本庁職員派遣数 延べ4,495人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 3人（令和4年度から） ・派遣社員の活用 1日あたり21人（令和4年度から） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3：PCR検査体制強化事業

事業内容	必要な検査需要に的確に対応するため、医療機関等と連携しPCR検査体制を強化する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市内医療機関での検査 ○民間検査機関での検査 ○保健所による行政検査 <p>※8月から保健所依頼の行政検査は、病院でのドライブスルー方式PCR検査から、保健所から世帯への抗原検査キット郵送に切り替え、病院負担の軽減と検査結果判明までの時間短縮を図る。</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所による行政検査数 約24,000検体 <p>R3年度決算額 457,354千円 R4年度予算額 71,931千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4：新型コロナウイルスワクチン接種事業

事業内容	新型コロナウイルスワクチン接種を希望する方が適切な時期に確実に接種できるよう、接種体制を整備する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○個別接種の実施 ○集団接種の実施 ○小児接種の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・追加接種（3回目）の開始（令和3年12月から） ・小児接種（5～11歳）の開始（令和4年3月から） ・追加接種（4回目）の開始（令和4年5月から） <p>・接種率 2回目接種 89.35% 3回目接種 74.02% 4回目接種 33.87%（4回目は、60歳以上の接種率）</p> <p>R3 年度決算額 2,207,477 千円 R4 年度予算額 909,562 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業5： 市民へのフォローアップ推進事業

事業内容	市民が安心して日常生活や経済社会活動を行うため、国・県等で定める対策や対処方針に基づく要請事項等について、速やかに分かりやすい情報発信を行う。
担当課	保健所 保健総務課
取組詳細	○国・県の要請事項等に関する速やかな情報発信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県の対処方針と乖離が生じることは、市民の混乱を招くため、市独自のガイドラインは制定しない方針。 ・国・県で定める対処方針に基づく要請事項等について、速やかに情報発信・注意喚起を実施。 <p>→情報発信実績：市長記者会見(R3.12月～定例会見含) 18回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施</p> <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 1-2

自宅療養者・宿泊療養者への健康観察等の適切な対応を図るとともに、潜在的保健師・看護師を登録する人材バンクの活用等により保健所の体制整備に努めます。

事業 1： 自宅療養者等対応強化事業

事業内容	全ての自宅療養者が速やかに健康観察等のフォローアップを受けるため、体制を整備し、自宅療養者等に対し健康観察等の適切な対応を行う。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○陽性者の状況に的確に対応した療養施設の調整 ○保健所業務の軽減と自宅療養者へのケア継続のため、食品調達は外部委託を活用し希望する方に支援を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品支援数 約 14,000 セット (1セット=3食×5日分) R3 年度決算額 44,185 千円 R4 年度予算額 1,400 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 潜在保健師・看護師人材バンク活用事業

事業内容	感染拡大時においても迅速かつ的確な対応を行うため、必要に応じて、人材バンクを活用し、健康観察業務等を行う専門職を確保する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	○人材バンク等の活用 ○専門職の臨時的確保



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	・健康観察、相談業務対応専門職会計年度任用職員 延べ8名雇用 R3 年度決算額 - R4 年度予算額 2,086 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 1-3

必要に応じて、高齢者施設、繁華街の飲食店の一斉検査(スクリーニング検査)を行うほか、医療機関、高齢者施設、保育園等への抗原簡易キットを活用するなど、検査体制の強化を図ります。

事業 1：一斉検査・検査キット活用事業

事業内容	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を早期に防止するため、クラスター発生が懸念される施設等において集中的な検査を実施するとともに、検査キットを配布する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○飲食店、教育関係施設等へのPCR検査キット申込み用の案内文を送付 ○ハイリスク施設等利用者を対象に抗原検査キットを配布（令和4年8月から） ○保育所等従事者を対象に抗原検査キットを配付（令和4年8月下旬から）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・PCR検査キット配付実績 約 20,600 個（令和4年1月から3月実施） ※飲食店、教育関係施設等への案内文送付により WEB 申込みされた件数 <p>R3 年度決算額 140,874 千円 R4 年度予算額 13,663 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 1-4

新型コロナ禍の影響が大きい観光関連事業者等に対して、事業存続に向けた適切な支援を行うほか、観光・飲食等の需要回復支援に取り組みます。

事業 1： 八戸市商業団体等販売促進支援事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、各種団体が実施する市民の消費喚起を促進する事業や販売促進事業に要する経費の一部を助成する。
担当課	商工課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○商業団体等が行う販売促進事業への助成 補助率：9/10 上限額：一般枠 5,000 千円、特別枠 10,000 千円 交付予定件数：一般枠 50 件、特別枠 2 件（商工会議所、商工会） ○イベント等の情報発信



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○当初募集 <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付（令和4年4月28日～令和4年5月31日） ・交付決定：【一般枠】30件／126,791千円 【特別枠】2件／20,000千円 計32件／146,791千円 ○追加募集（一般枠のみ） <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付（令和4年7月27日～令和4年10月31日） ・申請件数：1件 <p>R3 年度決算額 - R4 年度予算額 268,337 千円</p>
	2 年目	—
	3 年目	—
	4 年目	—

事業2：八戸市プレミアム食事券事業

事業内容	新型コロナウイルスの影響により売上が低迷している市内飲食店を支援するため、プレミアム食事券を発行する。
担当課	商工課
取組詳細	<p>○プレミアム食事券の発行・販売 食事券概要：500円券×13枚綴り=6,500円 1セット5,000円で販売（1人5セットまで予約可） プレミアム率：30% 発行総数：80,000セット 発行総額：5億2,000万円（6,500円×80,000セット） プレミアム総額：1億2,000万円（1,500円×80,000セット） 購入対象者：制限なし 実施主体：八戸市プレミアム食事券実行委員会 （八戸市、八戸商工会議所、八戸商店街連盟で組織）</p> <p>○参加店の募集</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>○プレミアム食事券の発行・抽選・販売 購入申込期間：R4.6.24（金）～7.15（金） 購入申込方法：特設Webサイトから、又は専用ハガキでの申込み 発行総数80,000セットに対し、以下のとおり申込みがあり、抽選を実施。 <申込者数・申込セット数> 30,193名 123,156セット <抽選結果> <table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">[当選者]</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">19,591名</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">80,000セット</td> </tr> <tr> <td>[落選者]</td> <td>9,826名</td> <td>40,167セット</td> </tr> <tr> <td>[対象外]</td> <td>776名</td> <td>2,989セット</td> </tr> </table> 購入引換期間：R4.7.29（金）～8.28（日） 販売所：八戸市内のショッピングセンター、スーパー他11か所 販売(引換)率：34.9%（R4.7末現在）（参考）74.1%（R4.8.14現在） 利用期間：R4.7.29（金）～R5.1.23（月）</p> <p>○参加店の募集 募集期間：R4.6.1（水）～R5.1頃まで 参加店舗数：461店舗（R4.7末現在）（参考）465店舗（R4.8.19現在） R3年度決算額 - R4年度予算額 180,000千円</p>	[当選者]	19,591名	80,000セット	[落選者]	9,826名	40,167セット	[対象外]	776名	2,989セット
	[当選者]	19,591名	80,000セット								
	[落選者]	9,826名	40,167セット								
	[対象外]	776名	2,989セット								
2年目	—										
3年目	—										
4年目	—										

事業3：八戸市プレミアム商品券事業

事業内容	コロナ禍や原油価格・物価の高騰により経営環境が悪化する事業者を支援するとともに、家計の負担軽減を図るため、プレミアム商品券を発行する。						
担当課	商工課						
取組詳細	<p>○プレミアム商品券の発行 商品券概要：1,000円券×15枚綴り=15,000円※原油・物価高騰特別加算分2,000円 1セット10,000円で販売（1人1セットまで購入可）</p> <p><15枚の内訳> <table border="0"> <tr> <td><u>全店共通券</u></td> <td>全参加店舗で利用可能</td> <td>1,000円券×9枚</td> </tr> <tr> <td><u>地元応援券</u></td> <td>市内に本店がある事業者の参加店舗で利用可能</td> <td>1,000円券×6枚</td> </tr> </table> <p>プレミアム率：50% 発行総数：22万2千セット（住基人口：221,818人_7.31時点） 発行総額：33億3,000万円（15,000円×222,000セット） プレミアム総額：11億1,000万円（5,000円×222,000セット） 購入対象者：R4.7.31に八戸市の住民基本台帳に登録されている方 （10月上旬に八戸市から全世帯の世帯主宛に購入引換券を郵送予定） 実施主体：八戸市プレミアム商品券実行委員会 （八戸市、八戸商工会議所、八戸商店街連盟で組織）</p> <p>○参加店の募集</p> </p>	<u>全店共通券</u>	全参加店舗で利用可能	1,000円券×9枚	<u>地元応援券</u>	市内に本店がある事業者の参加店舗で利用可能	1,000円券×6枚
<u>全店共通券</u>	全参加店舗で利用可能	1,000円券×9枚					
<u>地元応援券</u>	市内に本店がある事業者の参加店舗で利用可能	1,000円券×6枚					



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券の発行 販売開始：令和4年秋頃 利用開始：令和4年秋頃 ・参加店の募集 募集期間：R4.8.15（月）～R5.1.13（金） （参考）参加店舗数：274店舗（R4.8.17現在） <p>R3年度決算額 - R4年度予算額 1,250,000千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4： 八戸市観光おもてなしクーポン事業

事業内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、経済的に大きな影響を受けている観光関連事業者を支援するため、当市に宿泊する観光客等を対象にしたクーポンを発行する。
担当課	観光課
取組詳細	○市内の飲食店やお土産店で利用できるクーポンを交付 対象者：本事業の登録宿泊施設に宿泊する観光客・ビジネス客等 クーポン：2,000円（1,000円×2枚）／1名1泊 発行枚数：合計60,000枚（総額60,000,000円）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設募集開始（令和4年7月6日） →参加宿泊施設：27施設 ・参加店舗（飲食店・お土産店）募集開始（令和4年7月13日） →参加店舗：235店 ※参加宿泊施設、参加店舗とも令和4年8月17日現在の実績 ※新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、クーポンの発行・利用開始時期については検討中 R3年度決算額 - R4年度予算額 75,000千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業5： マチニワイベント支援事業

事業内容	街の賑わい創出と地域経済の活性化を図るため、マチニワで市内の複数事業者が共同で飲食・物販を含むイベントを開催する場合に、会場使用料を減免する。
担当課	八戸ポータルミュージアム
取組詳細	○マチニワ使用料の免除 対象：マチニワを会場とした飲食・物販を含むイベント



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・5月2日支援事業受付開始 支援期間 令和4年5月28日～令和5年3月31日 ・支援対象イベント申請受付件数 15件 ・うちイベント実施済件数 7件 <p>R3年度決算額 - R4年度予算額 0千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 1-5

新型コロナ禍の長期化により懸念される、高齢者フレイル（心身の虚弱）などの健康二次被害の予防と対策に取り組みます。

事業 1： 介護予防センター運営事業

事業内容	高齢者が住み慣れた地域で健康に暮らすため、介護予防センターの各種事業を周知すると共に、高齢者が主体的に介護予防に取り組むことができるよう、各種介護予防事業を行う。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防センター運営事業の周知 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 ○認知症支援事業の実施 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 ○圏域を対象とした利用促進事業の実施（令和4年度開始）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防センター運営事業の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はちのへ、新聞及び雑誌の掲載 5 回、BeFM放送 6 回 ・市情報コーナー（イトーヨーカドー八戸沼館店）1 か所設置 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・体力測定 4 人、もの忘れチェック 11 人、栄養相談 2 人、介護予防相談 80 人、介護予防教室 63 人、回想法延べ 60 人、体操会延べ 1,291 人、集いの場延べ 910 人 ○認知症支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・本人のつどい延べ 3 人、認知症の人を抱える家族のつどい 27 人、認知症カフェ 11 人 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・家族介護教室 17 人 <p>R3 年度決算額 17,631 千円 R4 年度予算額 18,891 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 1-6

感染症との共存（ウイズコロナ）時代において、市民が安心して日常生活や経済・文化・スポーツ・教育等の活動を行えるよう、市独自のガイドラインを制定し、フォロー体制を構築します。

事業 1：市民へのフォローアップ推進事業（再掲）

事業内容	市民が安心して日常生活や経済社会活動を行うため、国・県等で定める対策や対処方針に基づく要請事項等について、速やかに分かりやすい情報発信を行う。
担当課	保健所 保健総務課
取組詳細	○国・県の要請事項等に関する速やかな情報発信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県の対処方針と乖離が生じることは、市民の混乱を招くため、市独自のガイドラインは制定しない方針。 ・国・県で定める対処方針に基づく要請事項等について、速やかに情報発信・注意喚起を実施。 <p>→情報発信実績：市長記者会見(R3.12月～定例会見含) 18回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施</p> <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策1-7

新型コロナへの対応について様々な角度から検証し、新たな「感染危機管理マニュアル」を策定します。

事業1：保健所機能強化事業（再掲）

事業内容	感染拡大時においても保健所機能を維持するため、新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルを策定するとともに、必要な人材や機材等を確保する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和3年12月17日） ○マニュアルの運用及び検証 ○必要に応じた見直し



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和3年12月17日） ・保健所への本庁職員派遣数 延べ4,495人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 3人（令和4年度から） ・派遣社員の活用 1日あたり21人（令和4年度から） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

政策2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化

重点施策2-1

ウィズコロナ・アフターコロナ時代に向けた「八戸市経済再生ビジョン」を策定し、地域経済の再生・回復を図ります。

事業1：八戸市経済再生ビジョン策定事業

事業内容	地域経済の再生・回復を図るため、八戸市経済再生ビジョンを新たに策定し、経済再生に向けた道筋を示す。
担当課	商工課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジョンの策定 ○ビジョンの周知 ○ビジョンに掲げた取組の推進



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子案の作成 ・アンケート業務委託契約締結（令和4年7月7日契約締結） ・ビジョン策定に向けたアンケート内容全29問、送付先2,000社の確定 <p>R3年度決算額 -</p> <p>R4年度予算額 6,086千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策2-2

水産業の未来を考える「(仮称)八戸水産アカデミー」を設置します。また、養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めます。

事業1：水産業振興事業

事業内容	水産業の発展を図るため、当市水産業の未来を考える八戸水産アカデミーを新たに設置するとともに、養殖の可能性を調査研究する研究会を新たに設置する。
担当課	水産事務所
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸水産アカデミーの設置・運営 ○研修会の実施や「つくり育てる漁業」の推進に向けた検討 ○はちのへ水産振興会議を必要に応じて開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	5月24日 第1回八戸水産アカデミー開催 テーマ「体験的八戸水産業史」参加者約70人 6月23日 養殖事業先進地視察実施（鳥取県境港市） R3年度決算額 59千円 R4年度予算額 1,168千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 2-3

「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興により、八戸圏域の農業・畜産・水産資源を有効活用することで、交流人口や関係人口の増加による圏域全体の経済の活性化を図ります。

事業1：グリーン・ツーリズム推進事業

事業内容	農業観光振興を図るため、三八地方農業観光振興協議会に参画し、関係自治体と連携を図りながら、農家民泊の受入を促進する。
担当課	農業経営振興センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○三八地方農業観光振興協議会への参画 ○三八地方農業観光振興協議会に対し、負担金を交付 ○八戸市観光農園振興事業補助金の交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和4年4月13日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和4年4月21日） ・三八地方農業観光振興協議会負担金 160,000 円の支払い（令和4年5月） <p>R3 年度決算額 410 千円 R4 年度予算額 477 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：VISIT はちのへ活動支援事業

事業内容	観光物産振興を図るため、八戸圏域版DMO「(一財) VISIT はちのへ」が取り組む各種事業に対し、補助金を交付する。
担当課	観光課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ (一財) VISIT はちのへが取り組む各種事業に補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・「食のまち・八戸」プロモーション事業 ・圏域物産紹介販売推進事業 ・物産展・商品見本市・商談会事業 ・MICE（会議・コンベンション等誘致）事業 ・誘客推進事業 ・物産振興事業



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 8,919,000 円※（令和4年5月27日） ・令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 3,120,987 円※（令和4年5月18日） ※「食のまち・八戸」関連事業分 R3 年度決算額 3,121 千円 R4 年度予算額 8,919 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 八戸都市圏交流プラザ運営事業

事業内容	八戸圏域の認知度向上と販路拡大を目指すとともに、関係人口を増やすため、八戸都市圏交流プラザ「8base（エイトベース）」を運営し、地場製品の販売や交流事業を実施する。
担当課	観光課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「8base（エイトベース）」における物産販売、飲食の提供 ○食に関連するイベント等の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>運営状況 ※通常営業 11:00～22:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月21日～29日 まん延防止等重点措置 11:00～20:00 ※酒類提供なし ・令和4年1月30日～3月21日 まん延防止等重点措置 11:00～18:00 (物販) 11:00～15:00 (飲食) ※酒類提供なし ・令和4年3月22日～ 通常営業 <p>※食に関するイベント等については、コロナの影響により、実施時期を検討中</p> <p>来店実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度(12月～3月) 60,743人 令和4年度(4月～7月) 95,926人 <p>売上実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度(12月～3月) 16,547千円 令和4年度(4月～7月) 28,428千円 <p>R3年度決算額 37,102千円 R4年度予算額 47,577千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4： 湊地区まちづくり事業

事業内容	「みなと八戸」の振興を図るため、官民連携により、陸奥湊駅前市場街の再整備に取り組む。
担当課	まちづくり推進課
取組詳細	○官民連携での民間市場再整備 ○市営魚菜市場の改修（令和4年11月供用開始予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・みちのくみなと未来株式会社と市場再整備に係る協定締結（令和4年7月） ・市営魚菜市場の改修工事実施中（令和4年11月供用開始予定） <p>R3年度決算額 58,590千円 R4年度予算額 479,111千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業5：物産販売促進事業

事業内容	観光物産振興を図るため、地場産品を活用した料理・食文化普及活動や食に関するイベントの開催に対し、補助金を交付する。
担当課	観光課
取組詳細	<p>○地場産品を活用した料理・食文化普及活動や食のイベントを開催する市内の団体に補助金を交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1団体につき上限50万円 (ただし、補助対象経費の1/2又は50万円のいずれか低い額) ・補助対象経費 PRのためのリーフレット・チラシ・WEBサイト制作費等、コロナ対策に要する経費、消耗品費、通信運搬費、会場使用料、設営費等



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>・地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金活用団体募集開始 (令和4年6月1日～7月11日) → 3団体応募あり ※現在審査中</p> <p>R3年度決算額 350千円 R4年度予算額 2,000千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業 6： 農産物等販売促進事業

事業内容	八戸ワイン等のPR・販売促進を図るため、八戸都市圏交流プラザ「8base」等を活用した首都圏向けPRイベントを開催する。
担当課	農業経営振興センター
取組詳細	○市内ワイナリー等が8baseで実施する八戸ワインイベントへの協力（周知等） ○8base等を活用し、八戸ワインの販売促進に向けたPRイベントを開催（年2回）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸ワインと郷土料理を楽しむ会（令和3年12月25日～26日） 主催：金剛グループ 場所：8base 内容：東京事務所メルマガを通じて八戸市出身者等へのイベント周知を実施。 ・澤内醸造によるフリーテイस्टینگ&販売会（令和4年5月21日） 主催：澤内醸造 場所：8base 内容：全国プレスリリース記事掲載依頼（広報統計課経由）。 日本ワイン JP、@Press 等 HP で掲載有り。 <p><今後の予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸ワイン PR 試飲会（令和4年10月9日～10日） 主催：市 場所：8base 内容：市とワイナリーが共同で八戸ワインの販売促進に向けたPRイベントを実施。 <p>※その他1回開催予定。 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 118 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 2-4

デジタル関連産業や医療・介護・健康等の「ヘルスケア産業」など、成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成に取り組みます。

事業 1： IT 産業集積促進事業

事業内容	IT 産業の一層の集積を図るため、「八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会」に負担金を交付するとともに、AI 関連産業に参入する法人への補助金交付や IT 関連企業への各種助成を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会」を支援（負担金交付等） ○AI アノテーション作業を行う事業者に対し専門人材養成に係る経費等を助成 ○市の誘致企業である IT 関連企業に対し、賃料補助金や雇用奨励金を交付



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会を支援（負担金：3,000,000 円） ・AI 関連産業参入支援事業補助金 交付決定 3 件、交付決定額 11,100,000 円 <p>R3 年度決算額 25,614 千円 R4 年度予算額 18,000 千円</p>
	2 年目	—
	3 年目	—
	4 年目	—

事業2：イノベティブ産業集積促進事業

事業内容	地域企業の成長ものづくり分野への参入を図るため、有識者を招聘し、最近の動向等について情報提供を行うとともに、企業の立地及び参入促進に向け、補助金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○関連企業訪問による課題抽出、支援策紹介 ○イノベティブ産業集積促進事業補助金の交付 ○航空機関連企業と地域内企業とのマッチング



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機関連企業訪問：2件 R3 年度決算額 1,586 千円 R4 年度予算額 6,388 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業

事業内容	産業構造の高度化と雇用の拡大を図るため、北インター工業団地等に立地する高度技術産業等の企業に対し各種奨励金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○立地企業に対し、土地購入や設備投資、地元雇用に要する経費に係る奨励金を交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度交付件数 (R3.11.17~R4.3.31) 立地奨励金2件、操業奨励金6件、雇用奨励金3件 令和4年度交付件数 (R4.4.1~R4.7.31) 立地奨励金1件、設備投資奨励金1件 R3年度決算額 296,382千円 R4年度予算額 206,670千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4： 企業誘致促進事業

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、当市の立地環境や支援制度等について総合的なPRを行うとともに、企業ニーズに関する情報収集を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○企業セミナーの開催 ○企業訪問等を通じたトップセールスの実施 ○ガイドブックの更新及び企業ニーズに関する情報収集



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸セミナー2022 開催 (参加者数 7/26 名古屋：約70名、7/27 東京：約150名) ・二役によるトップセールスの実施 (県内12社、県外4社) <p>R3 年度決算額 5,910 千円 R4 年度予算額 16,700 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業5： 中小企業特別保証制度保証料補助事業

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、市内金融機関に対して原資を一部預託するほか、中小企業者に対する信用保証料の補助を行う。
担当課	商工課
取組詳細	○中小企業への信用保証料の補給 ○市融資の金融機関への預託



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○信用保証料補給 (R3 第3四半期～R4 第1四半期の合計額) ①小口特別保証制度：20,404千円 ②小口零細企業保証制度：5,496千円 ③商工業設備投資資金：16,702千円 ④「選ばれる青森」への挑戦資金：3,305千円 ○預託総額 (①～③+事業活性化資金 (信用保証料補給なし)) R3：810,000千円 R4：810,000千円 R3年度決算額 875,404千円 R4年度予算額 895,000千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策2-5

経済のグローバル化に向けた北東北の物流拠点としての基盤の整備等、産業インフラをさらに充実させ企業誘致に努めます。

事業1：ポートセールス事業

事業内容	地域経済を支える八戸港の一層の発展を図るため、国内外の企業訪問によるポートセールス活動や首都圏等でのポートセミナー等を開催する。
担当課	商工課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○企業訪問 ○海外ポートセールス（韓国） ○国内ポートセミナー（東京、名古屋） ○情報誌の発行 ○八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金の交付 ○コンテナ貨物利用促進事業補助金の交付 ○はちとまネットワークへの対応



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>【実績（結果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問：R3…8件 R4…29件 計37件 ・海外ポートセールス：R3…中止 R4…未実施（検討中） ・国内ポートセミナー：R3…中止 R4…名古屋67名（うち貿易関係20名） 東京148名（うち貿易関係78名） ・情報誌の発行：R3、R4：各1冊発行 ・航路補助金：R3、R4：実績無し ・コンテナ補助金：R3：延べ29件 6,048千円 ・はちとま対応：R3…共同広告、ポスター掲示（年度） R4…共同広告、打合せ実施（年度） <p>【成果】</p> <p>八戸港コンテナ取扱量について、令和2年度は52,232TEU（空コンテナ込）であったのに対し、令和3年度は55,129TEU（同）〈速報値〉となり、対前年比5.5%増となった。</p> <p>R3年度決算額 6,270千円 R4年度予算額 30,077千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：新産業団地整備・開発推進事業

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、企業進出の受け皿となる八戸北インター第2工業団地の開発を進める。
担当課	産業労政課
取組詳細	○新産業団地の開発 ・造成工事の実施 ・分譲開始（令和6年度予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財発掘調査（実施中、～令和5年度前半まで） ・造成工事（実施中、令和3年度～令和5年度継続費） ・調整池工事の入札（令和4年7月） ・道路修正概略設計業務委託の契約締結（令和4年5月） ・支障物件等移設の補償契約締結（水道）（令和4年6月） <p>R3年度決算額 579,235千円 R4年度予算額 2,481,718千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業（再掲）

事業内容	産業構造の高度化と雇用の拡大を図るため、北インター工業団地等に立地する高度技術産業等の企業に対し各種奨励金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○立地企業に対し、土地購入や設備投資、地元雇用に要する経費に係る奨励金を交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度交付件数（R3.11.17～R4.3.31） 立地奨励金2件、操業奨励金6件、雇用奨励金3件 令和4年度交付件数（R4.4.1～R4.7.31） 立地奨励金1件、設備投資奨励金1件 R3年度決算額 296,382千円 R4年度予算額 206,670千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4： 企業誘致促進事業（再掲）

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、当市の立地環境や支援制度等について総合的なPRを行うとともに、企業ニーズに関する情報収集を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○企業セミナーの開催 ○企業訪問等を通じたトップセールスの実施 ○ガイドブックの更新及び企業ニーズに関する情報収集



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸セミナー開催 (参加者数 7/26 名古屋：約70名、7/27 東京：約150名) ・二役によるトップセールスの実施（県内12社、県外4社） <p>R3 年度決算額 5,910 千円 R4 年度予算額 16,700 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業5： 港湾整備促進事業

事業内容	地域経済を支える八戸港の一層の発展を図るため、国や県に対して、航路・泊地などの港湾施設の整備に係る事業費の一部を負担する。
担当課	港湾河川課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○国が実施する航路・泊地及び市川土砂処分場の整備費用の一部を負担 ○県が実施した八太郎地区2号埠頭のコンテナターミナル拡張事業費の償還金を一部負担



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○直轄事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市川土砂処分場整備（概成延長 1,834m/2,132m） ○県議会議員に対し、要望事項の説明（令和4年8月予定） <p>R3年度決算額 399,938千円 R4年度予算額 44,585千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業6： 都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線整備促進事業

事業内容	地域経済の発展や防災力強化等のため、当市の主要な拠点間を結ぶ3・3・8号白銀市川環状線の整備促進を要望し、事業主体である県に対して事業費の一部を負担する。
担当課	道路建設課
取組詳細	<p>○事業主体である県に対し、尻内工区（街路事業）整備事業費の一部を負担</p> <p>○事業主体である県に対し、重点事業（最重点）として要望</p> <p><事業中工区></p> <p>尻内工区 （街路事業）約 1.3 km</p> <p>天久岱Ⅱ期工区 （道路事業）約 2.5 km</p> <p>市川町Ⅱ期工区 （道路事業）約 0.9 km</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>・県議会議員に対し、要望事項の説明（令和4年8月予定）</p> <p>R3年度決算額 362,934千円</p> <p>R4年度予算額 254,557千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業7：三陸沿岸道路利活用促進事業

事業内容	八戸・久慈自動車道の機能強化及び八戸港の物流拠点化の促進を図るため、国・県に対して要望活動を行うとともに、三陸沿岸道路の利用促進に向けた情報発信を行う。
担当課	道路建設課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○三陸沿岸道路等利活用懇談会への出席 ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金の支出 ○八戸・苫小牧フェリー航路を活用した三陸沿岸道路の利活用促進(令和4年度から) <ul style="list-style-type: none"> ①川崎近海汽船(株)へのヒアリング調査 ②八戸・苫小牧フェリー利用者へのアンケート調査 ③広報はちのへ特集記事の掲載



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金 316千円の支出 (令和4年6月) ○国会議員・国・県に対して要望活動を実施(令和4年7月) <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 779千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 2-6

地域の雇用と経済を支える中小企業・小規模企業の振興条例を制定し、効果的な運用により地域経済の活性化を図ります。

事業 1： 中小企業及び小規模企業振興基本条例推進事業

事業内容	地元中小企業の振興を図るため、条例の周知のほか、中小企業・小規模企業振興会議の効果的な運用により、中小企業・小規模企業の振興に向けた取組を推進する。
担当課	商工課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「中小企業・小規模企業振興基本条例」の制定（令和4年4月1日施行） ○条例の周知（冊子配布、広報はちのへ記事掲載） ○中小企業・小規模企業振興会議の設置・運営



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸市中小企業・小規模企業振興基本条例：令和4年4月1日付け施行 ○条例の周知 <ul style="list-style-type: none"> ①市ホームページ：令和4年5月30日付け全文（PDF）掲載 ②広報はちのへ：令和4年6月号（5月20日発行）に特集記事掲載 ③特集小冊子：現在冊子文案作成中 ○八戸市中小企業・小規模企業振興会議：令和4年9月1日に第1回会議開催予定 R3年度決算額 - R4年度予算額 1,122千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策2-7

次代の経済活性化に向けて起業家を支援するプラットフォームを構築し、起業家同士の交流や起業を志す若者や女性に対する起業支援体制を拡充することで、「創業拠点都市・八戸」を目指します。

事業1： はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、創業及び事業承継の支援拠点として「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」を設置し、相談員等による相談対応を実施する。
担当課	商工課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○相談対応の実施 ○創業希望者の交流事業の実施 ○創業及び事業承継に関するセミナーの実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談者数：103人 ・相談件数：450件 ・創業者数：20人 ・事業承継成立件数：7件 ・「事業の未来を描くための『つなぐ』セミナー」開催（令和3年12月） →参加者数：18名 ・「第6回はちのへ女性創業スクール」開催（令和3年11月～12月） →参加者数：21名 ・「令和3年度はちのへ創業スクール」開催（令和4年1月） →参加者数：12名 R3年度決算額 17,052千円 R4年度予算額 18,076千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：新規会社設立補助事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、市内において新規に会社設立を行う事業者に対し、会社設立に係る登録免許税の一部を補助する。
担当課	商工課
取組詳細	○会社設立にかかる登録免許税の一部を補助 ①株式会社を設立する場合 一律 75,000 円 ②合同・合資・合同会社を設立する場合 一律 30,000 円



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	・補助金交付要領制定（令和4年4月） →交付決定：②1件/30,000円 R3年度決算額 - R4年度予算額 900千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

政策3 持続可能なより良い社会の実現

重点施策3-1

SDGs（持続可能な開発目標）に対する市民の理解と取り組みを推進するために、教育機関・企業・関係団体等への情報発信や啓発活動を行います。

事業1：SDGs情報発信・啓発事業

事業内容	市全体においてSDGs推進の意識の醸成を図るため、市職員向け研修や市民向け講演会を開催するとともに、市内企業等が取り組むSDGsに関する取組の情報を発信する。
担当課	政策推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs研修（職員向け）の実施 ○SDGs講演会（市民向け）の開催 ○SDGsに関する情報発信 ○高等教育機関との連携 ○SDGs未来都市への応募の検討、検討結果に基づいた対応



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合計画に、施策との関連が深いSDGsのゴールのアイコンを掲載 ・八戸青年会議所とSDGs普及啓発に関する協定を締結（令和4年6月） ・八戸市民大学講座「今後どうする？私たちの暮らし～SDGsと消費生活～」開催（令和4年6月） →受講者数：204人 →講演の満足度：89% ※受講者へのアンケートにおける「非常に満足」「満足」の合計 ・広報はちのへにSDGsの取組を紹介する連載記事を掲載（令和4年度から） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 2,019千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策3-2

再生可能エネルギーの導入など、脱炭素化への取り組みを通じて、経済・社会・環境のバランスの取れた、グリーン・循環型社会の実現を目指します。

事業1：脱炭素化推進事業

事業内容	脱炭素化の推進に関する普及啓発を図るため、環境に配慮した事業に取り組む企業を視察する見学会や出前講座、省エネルギーに関するセミナーを開催する。
担当課	環境政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○環境に配慮した事業に取り組む企業への見学会や環境出前講座、省エネセミナー等の開催 ○全庁的に脱炭素化に取り組むための庁内検討会を設置・運営



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市グリーン社会推進プロジェクト庁内検討会を設置・運営（令和4年6月～） ・エコツアーや環境出前講座、省エネセミナーについては、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、今後の開催を検討中。 ・公共施設における再エネ設備の導入や国の補助事業実施の可能性等について検討中 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 137 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：地球温暖化対策理解促進事業

事業内容	二酸化炭素の排出削減に関する理解促進を図るため、市内企業との意見交換会を開催する。
担当課	環境政策課
取組詳細	○市内企業との意見交換会を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会にオブザーバーとして参画 (令和4年4月～) ・当該協議会パートナー企業との意見交換について検討中 (国が掲げる施策や目標等に関する意見交換を想定) <p>R3 年度決算額 - R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策3-3

行政・市民生活のデジタル化を加速させ、効率的かつ安全・安心な行政サービスを提供するために、民間人材の登用も視野にデジタル推進室を設置します。

事業1：行政のデジタル化体制強化事業

事業内容	行政のデジタル化を推進し、市民生活にも積極的に普及させるため、庁内に新たにデジタル推進部署を設置する。
担当課	人事課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「デジタル推進室」を新設 ○デジタル推進室においてデジタル推進計画(令和4年度策定予定)を策定し、デジタル化推進に係る取組を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政管理課内に「デジタル推進室」を新設（令和4年4月） 人員体制：6人（うち兼務職員2人） ・デジタル推進室における取組 <ul style="list-style-type: none"> ①八戸市デジタル推進本部、庁内連絡会議を設置・運営（令和4年5月～） ②デジタル推進計画策定に向けた基本方針を策定（令和4年7月） <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

政策4 スポーツ&文化で地域と経済の活性化

重点施策4-1

スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向けて、「スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を立ち上げます。

事業1： 八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会設置事業

事業内容	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを推進するため、八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を新たに設置し、八戸市スポーツ推進計画における事業進捗等の外部評価を行う。
担当課	スポーツ振興課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会の設置・運営 ○スポーツの実施状況に関するアンケート調査 ○八戸市スポーツ推進計画進行管理報告書作成 ○八戸市スポーツ推進計画の見直しや改訂等についての検討



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施状況に関するアンケート調査実施(令和4年3月22日~4月27日) →回答数：市民284人 ・八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会開催 →令和4年5月24日開催 →委嘱状交付、八戸市スポーツ推進計画の進捗状況等について審議 <p>R3年度決算額 -</p> <p>R4年度予算額 88千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策4-2

八戸市体育館の建て替え構想に際し、従来のスポーツ競技や観戦のほか、避難所・各種コンベンションの開催など多目的利用が可能な施設を検討します。

事業1：八戸市体育館整備事業

事業内容	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを推進するため、スポーツ振興の拠点となる新たな八戸市体育館を整備するもの。
担当課	スポーツ振興課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸市体育施設整備検討委員会の開催 ○八戸市体育館の建て替えに関する基本構想の策定



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市体育施設整備検討委員会開催 →7月末現在：5回開催(全7回予定) →委嘱状交付、基本構想(案)等について審議 ・八戸市体育館の建て替えに関する基本構想(案)に対するパブリックコメント実施 (令和4年7月21日～8月31日) <p>R3年度決算額 255千円 R4年度予算額 352千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策4-3

「北東北のコンベンションシティ八戸」を掲げ、イベントや会議などの誘致を積極的に進めると共に、八戸市の魅力を発信し経済波及効果を創出します。

事業1：VISITはちのへ活動支援事業（再掲）

事業内容	観光物産振興を図るため、八戸圏域版DMO「（一財）VISITはちのへ」が取り組む各種事業に対し、補助金を交付する。
担当課	観光課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○（一財）VISITはちのへが取り組む各種事業に補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・「食のまち・八戸」プロモーション事業 ・圏域物産紹介販売推進事業 ・物産展・商品見本市・商談会事業 ・MICE（会議・コンベンション等誘致）事業 ・誘客推進事業 ・物産振興事業



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度VISITはちのへ補助金交付決定 140,531,000円（令和4年5月27日） ・令和3年度VISITはちのへ補助金交付確定 119,719,194円（令和4年5月18日） ・MICE誘致実績（八戸市小規模MICE補助金交付実績）1件※ ※このほか1件が補助金申請済みであるほか、今後3件の補助金申請の予定あり <ul style="list-style-type: none"> ・WEB上でのデジタル広告の配信やホームページ・SNSを活用しての情報発信を実施 R3年度決算額 119,719千円 R4年度予算額 180,000千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策4-4

中心市街地において、商業機能や公共施設と文化事業(美術・文学・演劇・音楽)との連携によるエリアマネジメントに取り組み、市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくりを目指します。

事業1：文化事業と商業機能との連携事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、中心市街地における文化・スポーツ施設が提供するプログラムを通じた交流人口の増加や中心商店街へ回遊する仕掛けづくりに取り組む。
担当課	文化創造推進課
取組詳細	○八戸市美術館のイベントに関連した取組の実施(八戸市美術館) ○「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター～」の開催(八戸ポータルミュージアム) ○八戸ブックセンター企画事業(八戸ブックセンター)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・「まるごと馬場のぼる展」に関連した取組の実施(令和4年7月～) <ul style="list-style-type: none"> ① 中心商店街での「まるごと馬場のぼる展」フラッグ掲出 計18本 ② 回遊マップの作成・配布(各店舗において、美術館のシールチケット提示による割引サービスや、展覧会関連グッズの販売等を実施) 15,000枚作成 / 配付先: 参加店舗(市中心街38店舗、三戸町8店舗) ③ 回遊マップを活用した、まち歩きイベントの開催(令和4年8月11日) 参加者: 7名 ・横丁の路地やお店を会場としたパフォーマンスを行う「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター～」を10月8日と10月9日に開催予定 <ul style="list-style-type: none"> ① 実行委員会を2回開催(令和4年4月28日、6月28日) ② 中心街の会場を決定(7会場) ③ 出演アーティスト7組 ・八戸ブックセンター企画事業 <ul style="list-style-type: none"> ① パワープッシュ作家「山のふもとのブレイクタイム」「柗先生の小さなキッチン～雨のち晴れの林檎コンポート～」刊行記念関連企画(令和3年12月12日)再現料理の販売: 7店舗(はっち館内テナント、中心街飲食店)(会場: はっちひろば)トークイベント参加者: 18名(会場: はっちひろば) ② 新春記念「暁斎と蕭白」W屏風特別公開(帆風美術館～デジタル光筆画で見る屏風の世界～)(令和3年12月24日～27日、令和4年1月2日～24日)(会場: 八戸ブックセンター)※令和3、4年成人式の撮影スポットとして設置 ③ アカデミックトーク「北村益の演武映像と北村小松」(令和4年4月23日)参加者: 26名(会場: はっちシアター2) ④ パワープッシュ作家「羊毛フェルトの比重」刊行記念イベント(令和4年6月5日)参加者: 第1部(ワークショップ)8名、第2部(トークイベント)13名(会場: カフェ&バー「パトリ」(六日町いわとくパルコ本館4階)) <p>R3年度決算額 656千円(はっち616・ブックセンター40) R4年度予算額 1,940千円(美術館395・はっち1,500・ブックセンター45)</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 中心街ストリートデザイン事業

事業内容	三日町・十三日町の街路をひとつ中心の空間へ転換することを目指し、関係者との合意を形成するほか、ストリートデザインビジョンを策定し、ビジョンに沿った街路空間の再編や街路空間での商業活動を推進する。
担当課	まちづくり推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸市中心街ストリートデザインビジョンの策定 ○市民参加型の勉強会の開催 ○県と連携したまちなかウォークブル推進事業の実施に向けた都市再生整備計画（まちなかウォークブル推進事業）を作成（令和5年4月1日策定予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートデザイン勉強会を2回開催 令和4年4月30日 → 46人参加 令和4年6月26日 → 40人参加 <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 3,628千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

政策5 安心・安全な市民の暮らしを守る

重点施策5-1

超高齢社会に向けて、医療・介護・予防等の生活支援を総合的に推進するために、デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現を目指します。

事業1：在宅医療介護ICT連携推進事業

事業内容	医療と介護の両方を必要とする高齢者（看取りケア対象者含む）に対し、切れ目なく在宅医療と介護を提供するため、ICTツールを活用した連携体制を構築する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTツール活用推進 ○切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ○連携における課題の抽出 ○市民への普及啓発



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTツール（mell+community）登録262事業所、登録利用者数10,468人 ○Connect8事例検討会の実施（8回、令和3年11月～令和4年7月分） ○八戸市医療と介護の多職種連携意見交換会開催（令和4年2月16日） ○ICTツールを活用したワーキンググループの立ち上げ及び意見聴取実施（令和4年5～7月） ○ICTツール活用促進を目的とした研修（包括的支援事業研修会）を実施予定 R3年度決算額 4,642千円 R4年度予算額 5,273千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策5-2

介護人材を確保するため、資格取得支援、人材育成、町内会単位での支援体制の整備、市独自のヘルパー制度（軽度者に対するサービス提供）の創設などに取り組みます。

事業1：介護の仕事理解促進事業

事業内容	介護人材の確保や若年層の介護職に対するイメージアップを図るため、中学校・高等学校での出前講座の開催や、PR冊子・市HPを活用した情報発信を行う。
担当課	介護保険課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市HPを活用した情報発信（介護人材確保・定着応援・魅力発信関連リンク） ○PR冊子の配付 ○出前講座の実施 ○PR動画の配信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画（出前講座のダイジェスト）の限定配信（R3年12月から） →中学校26校、高等学校17校 ・出前講座の実施 高等学校1校（R4年7月） 内容：介護職の魅力・誇りに関する講話、介護ロボット体験により介護職への関心を高めた。 →参加生徒数26人 ・出前講座でPR冊子を配付（26冊） R3年度決算額 405千円 R4年度予算額 475千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 地域包括支援センター運営事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、市内に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置し、介護予防支援事業や包括的支援事業を実施する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括支援センターの運営 ○包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）の実施 ○介護予防支援（介護予防ケアマネジメント等）の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 5,877件 ・地域ケア会議個別会議 32回、地域ケア会議圏域会議 9回 ・認知症地域支援推進員の配置 20人 ○介護予防支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防把握事業（実態把握） 2,233件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 137件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 117回 ○町内見守りネットワーク 38町内 <p>R3年度決算額 206,316千円 R4年度予算額 214,374千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 介護予防・日常生活支援総合事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、各種介護サービスの提供や支援員の養成を行う。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防訪問介護相当サービス、訪問型サービスAを提供 ○介護予防通所介護相当サービス、通所型サービスCを提供 ○訪問型サービスAにおいて、生活援助サービスを提供する訪問支援員を養成



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防訪問介護相当サービス 3,427件 ○訪問型サービスA 29件 ○介護予防通所介護相当サービス 7,933件 ○通所型サービスC 161件※ <p>(内訳：運動機能向上 155件、認知症予防 6件) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため R4.1.21～4月末まで休止 認知症予防は R4 年度休止中</p> <p>R3 年度決算額 425,956 千円 R4 年度予算額 439,010 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策5-3

医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりを目指すと共に、終末期医療体制の整備に取り組みます。

事業1：包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、介護予防やケアマネジメント等（看取りケア等を含む）に関する包括的支援事業研修会を開催する。
担当課	高齢福祉課
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○研修会（医療・介護関係者向け）の開催 ○市民向け啓発：マイライフノート作成協力・配布、パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・R3年12月、八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催。 ※R4年度も12月開催予定 対象者：医療・介護関係者（参加者 96名） テーマ：アドバンス・ケア・プランニングとは「何？」&「どのように？」 講師：岩手保健医療大学臨床倫理研究センター長 清水 哲郎氏 ・R4年度、包括的支援事業研修会を年3回企画・開催予定（ZOOMミーティング） 対象者：介護支援専門員 他関係機関 テーマ：8/24「入退院支援の実際」、9/14「望む医療の選択について」、開催時期未定「ICT連携ツールの活用」 <ul style="list-style-type: none"> ○市民向け啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・マイライフノート作成協力・配布 ・パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月） <p>R3年度決算額 27千円 R4年度予算額 128千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：高齢者福祉に関する理解促進事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、高齢者福祉に携わる行政職員や介護・福祉サービス事業に携わる関係者、介護・福祉に関心のある住民等を対象として、看取りケア等に関する研修会を開催する。
担当課	高齢福祉課
取組状況	○研修会の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>令和4年11月7日 高齢者福祉合同研修会開催予定（連携事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 ハイブリッド形式（各市町村会場及びオンライン配信） ・テーマ グリーフケア・看取りについて（応用編） ～支える・つながるチームケア～ ・講 師 西片医療福祉研究会 代表 山田 美代子 氏 一部事務組合下北医療センターむつ総合病院 認知症看護認定看護師 橋本 琢磨 氏 <p>R3 年度決算額 172 千円 R4 年度予算額 171 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3：総合的ながん対策事業

事業内容	総合的ながん対策の充実を図るため、専門的ながん医療の提供や地域のがん診療の連携協力体制の構築に取り組むとともに、がん患者に関する相談支援及び情報提供を行う。
担当課	市民病院
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○診療体制の整備 ○地域のかかりつけ医を対象とした研修の実施 ○患者に対する相談支援及び情報提供



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種カンサーボードの定期実施 ・緩和ケア病棟の実入院患者数 110人 ・がん診療に関する講演会（緩和ケア）の実施と地域へ向けた配信 ・がん相談支援センターでの相談支援・情報提供の実施 <p>R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策5-4

障がい者の就業定着と就業機会の選択が広がるよう、事業者の理解促進に努めると共に就業支援の相談機能の充実を図ります。

事業1：障がい者就労支援団体ネットワーク事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者就労支援関係団体による情報共有のための会議を開催するとともに、障がい者の就労についての理解を深めるための研修会を開催する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットワーク会議の開催 ○市民を含めた研修会の開催 ○障がい者就労に関する情報の提供・共有



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議（2回）、研修会（1回）開催 → 参加人数：計106人 <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議（1回）開催 → 参加人数：計27人 <p>R3年度決算額 357千円 R4年度予算額 357千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 障がい者就労サポーター養成事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者雇用（予定）企業や就労継続支援サービス事業所の関係者、さらには市民等を対象として、障がい者就労サポーター養成講座を開催する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○障がい者就労サポーター養成講座の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義（5回）開催[令和4年2月] → 参加人数：計115人 <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義（5回）、見学会（2回）開催予定[令和4年8月～9月] <p>R3年度決算額 326千円 R4年度予算額 326千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3：障がい者就業支援事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者の就労に関する関係機関との連携強化を図るとともに、障害者就労施設の利用に向けた相談支援を行う。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○特別支援学校に通う障がい児の保護者への就労に関する説明及び相談支援 ○雇用促進セミナーにおける相談支援



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	【令和4年度】 ・福祉サービス説明会の開催及び相談支援の実施（令和4年5月） → 場所：青森県立八戸高等支援学校 参加人数：28名 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策5-5

多発する異常気象や、将来発生が予想される巨大地震とそれに伴う津波など、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、防災・危機管理部門を強化します。

事業1： 防災・危機管理体制強化事業

事業内容	大規模災害から市民の生命と財産を守るため、庁内の防災・危機管理体制の強化を図る。
担当課	防災危機管理課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○防災危機管理課の体制強化 ○体制強化に向けた検討・協議を行う



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策本部の事務局を防災危機管理課に移し、全庁横断的な危機管理体制を強化（令和4年2月から） ・防災危機管理課を2グループ体制に強化（令和4年4月） <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

政策6 「子どもファースト事業」の展開

重点施策6-1

子ども医療費助成の対象拡充、子育て支援の充実、学校施設の老朽化対策など、子どもや子育て世代にやさしい子どもファーストの事業に取り組みます。

事業1：子ども医療費助成事業

事業内容	子どもの健康保持と福祉増進を図るため、八戸市に住所のある児童が診察を受けた場合の医療費の自己負担分を助成する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○就学前の乳幼児～中学生の通院・入院費用を助成 ○高校生等の入院費用を助成



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児世帯の所得制限を緩和(令和4年1月) →新たに約2,700人が対象となった ・対象範囲の更なる拡充に向け検討中(所要額及び対象人数増加の試算を実施した) <p>R3年度決算額 364,183千円 R4年度予算額 483,817千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 軽・中程度障がい児保育事業

事業内容	障がい児保育施設の維持、拡充を図るため、障がい児の受入体制を整えている認定こども園・保育所（園）について、障がい児保育を担当する職員の配置費用に対し、補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○軽・中程度障がい児受け入れの認定こども園・保育所（園）に対し、職員配置費用を補助



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	令和4年度より補助基準額の見直しを実施 <中程度障がい児保育事業> 月額 77,000 円（前年度比 5,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 <ふれあい保育事業> 月額 43,000 円（前年度比 3,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 R3 年度決算額 16,464 千円 R4 年度予算額 30,540 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3：放課後児童健全育成事業

事業内容	放課後等における児童の居場所の提供体制を安定的に確保するため、放課後児童クラブの運営や新規開設・移転に係る各種支援を行うほか、支援員の定着や新たな人材の確保を図るため、支援員の処遇改善を実施する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○クラブの開設等に係る支援や調整を実施 ○支援員の処遇改善 ○各クラブにおける新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、運営を継続



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.4月から1クラブ増設（市内48クラブ） ・R4.2月から放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業により、支援員等の賃金引上げ分の補助を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策支援事業により、消毒液や感染防止に係る備品代の補助を実施 <p>R3年度決算額 278,881千円 R4年度予算額 304,469千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4：小・中学校整備事業

事業内容	児童・生徒等が安全・安心に過ごせる教育環境を整備するため、学校施設の経年劣化箇所の修繕及び利便性向上のための営繕を行う。
担当課	教育総務課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の施設・設備の補修等整備 ○小中学校への冷房設備の設置 ○小中学校防音機能復旧事業（空調設備工事）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の施設・設備の補修等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・八戸小学校屋内運動場床改修工事（令和4年6月契約済） ・函南小学校防球・防砂ネット改修工事（令和4年7月契約済） ・根城中学校特別教室棟屋上防水改修工事（令和4年9月契約予定） ○小中学校への冷房設備の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校18校空調設備（冷房）設置工事（令和4年4月契約済） ○下長小学校防音機能復旧事業（空調設備工事）（令和4年9月契約予定） <p>R3年度決算額 1,109,201千円 R4年度予算額 1,065,320千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業5： こどもの国大型複合遊具設置事業

事業内容	こどもの国において、子どもの多様なニーズに対応するため、年齢や障がいの有無に関わらず、すべての子どもが楽しく遊ぶことができるインクルーシブの考えを取り入れた大型複合遊具を整備する。
担当課	公園緑地課
取組詳細	○大型複合遊具の整備（令和8年度全面供用開始予定） ①「インクルーシブゾーン」の複合遊具、ゴムチップ舗装の整備 ②「アクティブゾーン」の大型複合遊具（一部）の整備



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会建設協議会にて事業説明（令和4年5月） ・子どもファースト会議にて事業説明（令和4年6月） ・工事発注（令和4年6月） <p>R3年度決算額 - R4年度予算額 67,450千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 6-2

幼児保育の重要性の認識や職場環境の改善を図り、人材の確保に努めると共に、幼児教育の質の向上に向けた研修体制や小学校との円滑な接続を図るカリキュラムを構築します。

事業 1： 保育士資格等取得支援事業

事業内容	保育人材の確保を図るため、保育士資格等の取得に要した費用の一部助成を行う。
担当課	こども未来課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○保育士資格を取得するために要した受講料等の一部補助を実施 ○幼稚園教諭免許状を取得・更新するために要した受講料等の一部補助を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度幼稚園教諭免許状取得支援事業補助金 対象施設 2施設 人数 4名 R3 年度決算額 63 千円 R4 年度予算額 2,285 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 保育士修学資金貸付金事業

事業内容	保育人材の確保を図るため、保育士養成施設に在学しており、将来市内の保育所等で保育士として従事しようとする者に対し、奨学金を貸与する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○奨学金を貸与(月額4万円)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	貸付者数 4人(R3) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:7人) →従事者数 1人(R3) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:6人) ※()内は貸付年度 ※R3年度3人はR4年度卒業予定 R3年度決算額 4,320千円 R4年度予算額 5,280千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 幼保小連携推進事業

事業内容	幼保小の連携により、入学時における園児・保護者の不安解消と円滑な接続を図るため、保護者向けパンフレットの配布やオープンスクール、関係機関の各代表による研修会等を開催する。
担当課	教育指導課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の各代表、保護者、八戸学院大学短期大学部准教授・幼児教育アドバイザーによる代表者研修会の実施 ○就学児保護者用パンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布 ○幼保小連携研修講座の開催 ○小学校区を中心とした地区会の開催 ○オープンスクールの開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回代表者研修会の開催（令和4年5月） ・就学児保護者用パンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布（6月） ・幼児教育施設及び小学校へ幼保小連携研修講座のお知らせと参加受付（7月） <p>R3 年度決算額 130 千円 R4 年度予算額 125 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4：特別支援教育推進事業

事業内容	一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の充実を図るため、小学校・中学校・園への巡回相談や支援体制づくり、保護者・関係機関等の連携に関わる指導助言を行う。
担当課	こども支援センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○巡回相談の実施 ○保護者・本人・教職員等を支援する教育相談の実施 ○未就学児の発達についての相談・指導の実施 ○学び方支援「ビジョン・トレーニング」や就学に向けた適応支援「リトル」の実施 ○小学校就学に向けた切れ目のない相談体制の整備 ○幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言 ○教育支援委員会の開催・運営 ○専門指導員の増員 ○特別支援教育アドバイザーによる障がい等についての見立てや特別支援学校への接続に関する相談の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・園、小・中学校への巡回相談の実施 →令和3年度 763件 令和4年度 192件 ・保護者・本人・教職員等を支援する教育相談等の実施（未就学児を含む全相談件数） →令和3年度 3094件 令和4年度 1268件 うち、未就学児の発達についての相談・指導の実施 →令和3年度 1465件 令和4年度 564件 ・学び方支援「ビジョン・トレーニング」 →令和3年度 16回延べ87名参加 令和4年度 4回延べ25名参加 ・就学に向けた適応支援「リトル」の実施 →令和3年度 20回延べ85名参加 令和4年度 3回延べ13名参加 ・すくすく親子健康課と連携し、小学校就学に向けた切れ目のない相談体制を検討 ・幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言の実施 ・教育支援委員会の開催・運営 →令和3年度 8回実施 令和4年度 3回実施 ・令和4年度より特別支援教育アドバイザーを配置、及び専門指導員2名を増員 <p>R3年度決算額 49,450千円 R4年度予算額 55,124千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業5：教職員研修事業

事業内容	教職員の資質能力の向上を図るため、教育公務員特例法に基づく研修を行うとともに、一般市民を対象として、教育課題の解決や教養を高めるための研修を行う。
担当課	総合教育センター
取組詳細	○研修講座の実施 ※研修講座の一部は、幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も受講対象に設定



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・29講座を開催 → 受講者数：延べ1,124人（令和4年度） ・幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も対象とした講座は、3講座開催 → 受講者数 3人（令和4年度） <p>R3年度決算額 10,256千円 R4年度予算額 15,745千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策6-3

学校のプログラミング教育や国際交流事業のさらなる充実を図り、未来の八戸を担う子どもたちの学びを支えます。

事業1：GIGAスクール構想推進事業

事業内容	児童生徒の情報活用能力の育成及び教員のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末の計画的な整備と円滑な運用を推進する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○指導者用コンピュータ等の新規整備 ○GIGAスクールサポーターの配置支援 ○デジタルドリル教材の整備 ○職員研修のサポート ○児童生徒子ども見守りシステムの整備(令和4年度から) ○GIGAスクール運営支援センターの整備(令和4年度から)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者用コンピュータ(722台) 整備率100% (令和4年度) ・デジタルドリル教材を全小・中学校に整備 整備率100% (令和4年度) ・GIGAスクールサポーター(3名)による学校支援 述べ282校(令和4年度) ・職員研修のサポートは継続的に実施 研修回数20回(令和4年度) ・GIGAスクール運営支援センター開設。各学校からの全ての情報機器に関する問合せをコンタクトセンターへ一本化した。(令和4年度) <p>R3年度決算額 46,910千円 R4年度予算額 90,904千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：青少年海外派遣交流事業

事業内容	次代を担う子どもたちの国際的な視野の拡大と国際意識の向上を図るため、八戸市内の中学生の海外派遣や、海外の児童生徒を受け入れ、市長表敬訪問、学校訪問、市内見学等を行う。
担当課	教育指導課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中国（上海、蘭州、西安、北京）に派遣（8泊9日） ○受入事業 <ul style="list-style-type: none"> ・蘭州市青少年友好交流団来八（ホームステイ、中学校訪問、歓迎会、市長表敬訪問） ・米国ポートランドインターナショナルスクール児童の受入れ（ホームステイ、小学校訪問）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の影響により派遣事業中止 ○米国ポートランドインターナショナルスクールとのオンライン交流 (令和3年12月9日、令和4年1月21日、令和4年3月9日) <p>R3 年度決算額 50 千円 R4 年度予算額 172 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3：国際理解教育・英語教育推進事業

事業内容	国際理解教育・英語教育の推進を図るため、ALT（外国語指導助手）が、小・中学校における外国語の授業や国際理解教育にかかる授業等を補助する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTによる授業の補助の実施 ○直接任用ALTの増員



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・JETプログラム*ALT15名（8月末で18名の予定）、市直接任用ALT2名 ・一人のALTが同一中学校区の小・中学校を担当することにより、継続的な指導が可能となり、英語教育の充実を図ることができた。（令和4年度） ・一校当たり平均訪問回数 小学校17日、中学校36日（令和4年度） ・ALT一人当たり平均授業時間数 小学校129時間、中学校71時間（令和4年度） <p>*JETプログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業</p> <p>R3年度決算額 95,811千円 R4年度予算額 111,176千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策6-4

食品関連事業者や関係団体などとの連携の下に、子ども食堂の支援に努めます。

事業1：子ども食堂支援事業

事業内容	子ども食堂実施団体の連携を強め、地域全体で子どもの見守りを強化するため、広報支援を行うとともに、食材提供者と子ども食堂実施団体のマッチングについて検討する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○食材提供者と子ども食堂実施事業者のマッチングに向けた関係団体との協議 ○「八戸子ども宅食おすそわけ便」の広報支援 ○関係団体との連絡体制の強化



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングに向け、関係団体との協議を実施（2団体） ・「八戸子ども宅食おすそわけ便」の広報支援（チラシ配布） ・食材提供者への子ども食堂実施団体の情報提供 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

政策7 多様な市民力を地域の活力に

重点施策7-1

高校・大学卒業を機に転出した若者・女性に向けた「ふるさとメール便」・「ふるさと情報アプリ」の導入やリモートワーカー等の積極的な受け入れにより、若者・女性の移住促進に取り組めます。

事業1： 移住・交流促進事業

事業内容	首都圏等からの移住や人材の還流を図るため、移住相談窓口事業の実施や移住相談会への参加、移住ポータルサイトの運営を行う。
担当課	広報統計課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○移住促進パンフレットの作成・配布 ○移住・交流ポータルサイトの運営 ○移住相談窓口の運営 ○移住相談会への参加 ○リモートワーカー等の受け入れに関する情報発信（令和4年度から） <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット広告の活用 ・移住促進動画の制作



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市移住 PR パンフレットを作成・配布 (R4.1.27) →配布先：青森暮らしサポートセンター、8base、東京事務所、イベント・相談時に配布 ・東北U・Iターン大相談会参加 (R4.1.9 相談者数：14人) ・八戸都市圏移住セミナー開催 (R4.3.6 相談者数：1人) ・東北移住&つながり大相談会参加 (R4.7.24 相談者数：6人) ・インターネット広告開始 (R4.7.19～) ・八戸市移住促進 PR 動画作成 (R4.7.29) <p>R3 年度決算額 3,757 千円 R4 年度予算額 8,000 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：シティプロモーション推進事業

事業内容	定住人口及び交流人口の維持拡大のため、八戸市公式SNSの活用を中心に、当市の魅力を市内外に発信する。
担当課	広報統計課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員（シティプロモーション事務員、映像クリエイター）の配置 ○八戸市公式 SNS の運用 ○小学生スポーツのライブ配信 ○八戸都市圏ファンクラブの運営・情報発信 ○八戸都市圏ファンクラブイベントの開催 ○高校、大学、専門学校卒業者に対する市公式 SNS 登録の促進、発信内容の充実 ○八戸市出身者・関係者へのメール配信と市公式 SNS の情報発信の連動



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーション事務員、映像クリエイターを配置（各1名） ・八戸市公式 SNS 投稿数 Twitter 1,197件、Facebook 462件、LINE 446件、YouTube 62件 ・小学生スポーツ大会ライブ配信実績 アイスホッケー（令和3年11月28日）、サッカー（令和4年5月14日） ・八戸都市圏ファンクラブ「スクラム8」の情報発信 LINE 49件、ファンクラブ通信記事 4本 ・卒業生用ポストカード配布 3,985枚 ・八戸市出身者・関係者へのメール配信 1回 <p>R3 年度決算額 10,220 千円 R4 年度予算額 12,006 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-2

産業界と教育界の連携を図り教員、生徒、保護者を対象とした地域における産業教育の充実により、大学生や高校生の地元定着を図ります。

事業1：八戸産学官連携推進事業

事業内容	若者の地元定着を図るため、八戸産学官連携推進会議を設置し、産学官の各機関が地域の現状や課題を共有し、地域の持続的発展や活性化に向けて取り組む。
担当課	政策推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市内高等教育機関・八戸商工会議所・八戸市が連携するプラットフォームの運営に参画 ○「八戸産学官連携推進会議」を開催し、「産学官連携による八戸未来創造中長期計画」に掲げる取組の推進や進行管理指標の進捗確認の実施 ○各校共通の講義として、「八戸地域学」を開講（令和4年度から）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○産学官連携推進事務局会議の開催（令和4年7月19日） （今後の予定） <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携推進事務局会議（9月、1月） ・産学官連携推進会議（10月、2月） ・八戸地域学（10月：市長 11月：高等教育機関 12月：八戸商工会議所） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 地元企業ファンづくりプロジェクト事業

事業内容	地元企業への理解を高め、若手人材の地元定着を図るため、企業と協力し、小学生から大学生を対象として地元企業を学ぶ機会を創出する。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○協力企業をまとめた冊子の作成、学校への配布 ○出前講座・視察見学の斡旋・マッチング ○広報はちのへ記事掲載



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業をまとめた冊子の作成、配布（令和4年6月）…作成28社、配付84校 ・出前講座・視察見学の斡旋・マッチング…2校 <p>R3年度決算額 37千円 R4年度予算額 275千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-3

若者・女性にとって魅力ある街づくりをビジョンに掲げ「(仮称) まちの魅力創生ネットワーク会議」を立ち上げます。

事業1： 八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業

事業内容	若者や女性にとって魅力あるまちの実現に向け、八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議を設置・運営し、会議からの政策提言に基づき、関係部署と連携を図りながら事業化を検討する。
担当課	政策推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの魅力創生ネットワーク会議の設置、運営 ○市長への政策提言の実施 ○提言内容を事業化に向けて検討



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付属機関設置条例の改正、まちの魅力創生ネットワーク会議規則の制定 (令和4年4月1日施行) ・ まちの魅力創生ネットワーク会議の開催 →7月末現在：4回開催(全6回予定) ・ 8月29日に提言内容を取りまとめ、市に提出 <p>R3年度決算額 - R4年度予算額 3,000千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-4

社会人を対象に、資格、技術、技能、専門知識の習得など、地域や企業に役立つ人材を育てるための学びの場として「(仮称) キャリア教育講座」を設置します。

事業1： 地域人材ニーズ調査事業

事業内容	地域や企業に役立つ人材を育てるための「(仮称) キャリア教育講座」の設置に向けて、市内企業が求める人材についてのニーズ調査を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	○「(仮称) キャリア教育講座」の設置に向けて、ニーズ調査を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査のアンケート内容の検討 ・「(仮称) キャリア教育講座」実施内容の検討 <p>R3 年度決算額 -</p> <p>R4 年度予算額 222 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-5

シニア世代の資格や技術・技能・専門知識などのキャリアを活かし、中小企業の人材不足と経営再生を支援するため、人材(スキル)を登録し、マッチングを支援する仕組みづくりに取り組みます。

事業1：無料職業紹介事業

事業内容	企業の人材確保と求職者の早期就職を図るため、「八戸市無料職業紹介所」を開設し、求職者への求人情報の提供、職業紹介、就業相談や求人希望する企業の求人登録、紹介を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	○求職者への求人情報の提供、職業紹介、職業相談の実施 ○求人希望する企業の求人登録、紹介



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ作成、配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等の検討 ・シルバー人材センター等 R3 年度決算額 3,181 千円 R4 年度予算額 3,389 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業

事業内容	圏域内の企業の人材確保と求職者の早期就職を図るため、求人及び求職者に関する情報を集約し発信する無料ウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場(いちば)」を運営する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○求人及び求職者に関する情報の集約・発信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ作成、配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター等 <p>R3 年度決算額 746 千円 R4 年度予算額 592 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-6

地域の協力を得ながら、高齢者サロン・老人クラブ等の高齢者の生きがいきづくり活動を支援すると共に、高齢者の社会参加の促進を図ります。

事業1：老人クラブ活動支援事業

事業内容	老人クラブの維持・活性化を図るため、市内の老人クラブや老人クラブ連合会への補助事業を行うとともに、老人クラブにおける社会奉仕活動の促進及びクラブ会員の加入促進のための取組を支援する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○老人クラブ補助金の交付 ○老人クラブ連合会補助金の交付 ○社会奉仕活動等促進事業の実施（委託事業）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○老人クラブ補助金の交付 → 補助金交付老人クラブ数 140 クラブ ○老人クラブ連合会補助金の交付 → 八戸市老人クラブ連合会 ○社会奉仕活動等促進事業の実施（令和3年度実績） <ul style="list-style-type: none"> →集いの場運営及び地域見守り活動助成：助成金交付クラブ数 20 クラブ →老人クラブ加入促進及び活性化業務：広報誌年4回×6,500部発行、加入促進チラシ2,000枚作成、歴史講座（年3回）開催。 →老人クラブ補助金申請受付等業務：補助金申請書受付、実績報告書受付 R3年度決算額 11,713千円 R4年度予算額 11,624千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：高齢者生きがいと健康づくり推進事業

事業内容	高齢者の社会参加の促進と介護予防、自立生活の助長を図るため、三世代交流事業や各種講座、サロンを開催する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ほっとサロンの開催 ○サロンリーダー研修会の開催 ○三世代交流事業の開催 ○ニュースポーツ講座の開催 ○シニアいきいき講座の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ほっとサロンの開催…66 サロンで 414 回開催、8,113 人参加。(9 サロン中止) ○サロンリーダー研修会の開催…5 回開催、415 人参加 ○三世代交流事業の開催…39 回開催、500 人参加 (2 か所中止) ○ニュースポーツ講座の開催…3 回開催、66 人参加 ○シニアいきいき講座の開催…9 回開催、193 人参加 <p>(新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年8月31日～9月30日及び令和4年1月21日～3月31日まで事業中止。)</p> <p>R3 年度決算額 6,521 千円 R4 年度予算額 6,195 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 鷗盟大学運営事業

事業内容	高齢者の学習活動の推進と生きがいつくり、仲間づくりの場を提供するため、60歳以上の市民が入学できる2年制の大学を運営する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目の学習を実施 ○クラブ活動、ボランティア活動の実施 ○総合美術展の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○R3年度 学生数（令和4年3月31日現在） <ul style="list-style-type: none"> ・1学年：42名（生活福祉科29名、園芸科13名） ・2学年：70名（生活福祉科52名、園芸科18名） ※各学年とも定員105名 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・総合美術展（令和3年11月20日、21日） ・芸能発表会中止（令和4年1月20日、21日） ・各種クラブ活動あり （新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年8月31日～9月30日及び令和4年1月21日～3月31日まで休校。） ○R4年度 学生数（令和4年4月1日現在） <ul style="list-style-type: none"> ・1学年：48名（生活福祉科38名、園芸科10名） ・2学年：42名（生活福祉科29名、園芸科13名） R3年度決算額 8,910千円 R4年度予算額 9,000千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4： シニアはつらつポイント事業

事業内容	高齢者のボランティア参加を促進するため、高齢者が介護施設等で行ったボランティア活動に対し、商品券や寄附ができるポイントを付与する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○シニアはつらつポイントの付与 ○研修会、スキルアップ講習会の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は事業中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアはつらつポイント事業の再開（令和4年5月から） ・ボランティア活動再開（令和4年7月から） ・事業再開説明会の開催→1回開催 21名参加 ・研修会の開催→全3回のうち1回開催 8名参加 <p>※スキルアップ講習会の開催（令和5年3月に開催予定）</p> <p>R3年度決算額 20千円 R4年度予算額 3,184千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

政策8 暮らしやすく人に優しいまちづくり

重点施策8-1

地域の活力を維持するために「コンパクト&ネットワーク」の街づくりを推進すると共に、地域らしさを創出するための協働のまちづくりを推進します。

事業1：「地域の底力」実践プロジェクト促進事業

事業内容	地域活動の全市的な推進及び特色ある地域コミュニティの振興を図るため、地域の人材、歴史、文化、伝統、自然などの地域資源を活用し、課題解決や活性化に向けて主体的に取り組む地域を支援する。※2カ年事業
担当課	市民連携推進課
取組詳細	<p>【1年目】</p> <p>① 取組地域を公募し採択</p> <p>② 地域住民等とプロジェクトの内容や方向性を共有するための「結集会議」を開催</p> <p>③ 具体的な実践内容を検討するための「プロジェクトチーム」を結成し、会議を開催</p> <p>【2年目】</p> <p>④ 実践に必要な資金を支援するため実施経費に対して補助金を交付</p> <p>⑤ 今後の地域活動に活かすための「事業の振り返り」を実施</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度新規取組地域の採択（根城地区連合町内会） ・結集会議の開催 ①下長：令和3年12月2日 参加者48名 ②白銀南：令和4年4月15日 参加者52名 ・プロジェクト会議および準備会議への参加（下長：5回、白銀南：3回、上長：3回） ・プロジェクト実践に伴う補助金の交付（白銀南：500千円） <p>R3年度決算額 1,970千円 R4年度予算額 2,189千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 八戸市立地適正化計画改定事業

事業内容	安全なまちづくりを推進するため、八戸市立地適正化計画に「防災指針」を位置付けるとともに、新たな地域公共交通計画との連動を図るため、計画の見直しを行う。
担当課	都市政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画基礎調査の実施 ○都市計画基礎調査の調査結果や各種統計データを基に分析・評価 ○地域公共交通計画との調整



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査業務委託契約の締結（令和4年6月） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 31,000千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 売市第三地区土地区画整理事業(代替整備計画)

事業内容	土地区画整理事業の長期未着手となっている売市第三地区において、現状にあわせた代替整備計画を検討し、コンパクト&ネットワークの街づくりを推進するとともに、人に優しい街づくりを実施する。
担当課	市街地整備課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路沿線の土地利用についての検討及び説明会の実施 ○庁内関係課と調整、検討状況の共有及び精査 ○地元協議会との意見交換会を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会建設協議会に対し、土地区画整理事業に拘らず都市計画道路や幅員4m未満道路の拡幅、下水道等を個別に整備する代替整備計画の検討を進める方針を報告(令和4年2月) <p>R3年度決算額 3,470千円 R4年度予算額 3,792千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策8-2

市民にとって身近な公園や歩道の整備、公共施設等の保守・修繕・バリアフリー化を進め、人にやさしい街づくりを推進します。

事業1：無電柱化推進事業

事業内容	すべての人が安全快適に過ごせる環境を整備するため、「暮らしのみちゾーン基本計画」を含む「(仮称)八戸市無電柱化推進計画」を作成し、中心市街地における一層の無電柱化やバリアフリー化を進めるとともに、緊急輸送道路及び景観重点地区における無電柱化を推進する。
担当課	道路建設課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「暮らしのみちゾーン基本計画」に基づき電線類の地中化・バリアフリー化を実施 ○「暮らしのみちゾーン基本計画」の見直しを含めた、「八戸市無電柱化推進計画」の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・市道停車場上線、鳥屋部町線事業実施中（令和6年3月完了予定） ・市道番町線事業実施中（令和8年3月完了予定） ・市道中央停車場線事業実施中（令和6年10月工事着工予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市道鳥屋部町線車道舗装工事、歩道舗装工事（令和4年3月完成） ・市道番町線電線共同溝特殊部設置工事（令和3年12月完成） ・市道番町線電線共同溝本体工事（令和4年3月～実施中） ・市道中央停車場線電線共同溝設計業務委託（令和4年7月～実施中） <p>R3 年度決算額 181,615 千円 R4 年度予算額 234,506 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業 2： 新井田白銀線歩道整備事業

事業内容	安心・安全な歩行空間の確保と渋滞解消のため、新井田白銀線の拡幅改良（歩道設置）工事を実施する。
担当課	道路建設課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道未整備区間に両側歩道を設置 ○渋滞対策として右折車線を設置 ○用地買収の実施 令和3年度：用地買収・移転補償 令和4年度：用地買収・移転補償・道路改良工事 令和5年度：用地買収・移転補償・道路改良工事 令和6年度：用地買収・移転補償・道路改良工事 令和7年度：道路改良工事（完了予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	令和3年度：用地買収 N=6 筆、移転補償 N=4 件、物件調査業務委託 N=1 件 令和4年度：用地買収・移転補償実施中 R3 年度決算額 70,705 千円 R4 年度予算額 49,376 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業3：交通安全施設整備事業

事業内容	児童・生徒の安心・安全な歩行空間を確保するため、老朽化による破損が著しい通学路の歩道補修工事を実施するとともに、通学路の安全対策を推進する。
担当課	道路維持課
取組詳細	○歩道の補修工事を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>補修工事を実施中 6路線 施工延長 L=700m</p> <p>①下大久保佐部長根線 ②石堂河原木7号線 ③新井田白銀線 ④石堂河原木10号線 ⑤大渡金浜線 ⑥無縁塚鹿島沢線</p> <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 50,000千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業4：公園施設長寿命化事業

事業内容	安全・安心な公園づくりと施設の延命化を図るため、八戸市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の改築・修繕を行う。
担当課	公園緑地課
取組詳細	○公園施設の改築、修繕を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具、花壇、公園灯、舗装等の修繕を実施（令和4年度） →実施場所：イチイ公園、岬台中央公園、長根公園、長根公園、三八城公園、上沢巻目公園、四本松公園、淀1号公園、しろがね市民プール <p>R3 年度決算額 47,969 千円 R4 年度予算額 31,050 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業5： 公共施設マネジメント推進事業

事業内容	公共施設の適切かつ効率的・効果的な管理運営を推進するため、公共施設マネジメントの推進に係る基本方針に基づく取組を推進するとともに、大型公共施設の維持管理コストの見える化に取り組む。
担当課	行政管理課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○基本方針に基づくマネジメントの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・施設カルテの更新 ・個別施設計画の進行管理にかかる検討 ・先進地事例収集 ・研修会の開催 ○大型公共施設カルテの公表



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市公共施設マネジメントの推進に係る基本方針の改訂（令和4年4月） ・個別施設計画の進行管理表取りまとめ（令和4年6月） ・公共施設オンラインセミナーの開催（令和4年7月1日） →参加者：施設所管課担当者7名 ・施設カルテ（430施設）を更新（令和4年8月1日） <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 164 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策8-3

空き家の適正管理を進めるほか、空き家のリフォームやリノベーションによる転用などの利活用を促進します。

事業1： 空き家等管理対策事業

事業内容	空き家の適切な管理と発生防止のため、市民等からの相談受付や各種調査・助言・指導等を行うとともに、適切な管理に関する啓発や所得税の特例制度の周知、圏域自治体との合同研修会を実施する。
担当課	市街地整備課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ○圏域町村との合同研修会の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ⇒新規相談受付案件：35件（8件解決）、既受付案件：53件解決 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ⇒（株）ジチタイアドと官民協働で空き家情報誌を作成（9,200部）し、町内会等に配布 ⇒広報はちのへ8月号（R4.7発行）に、空き家等の適切な管理に関する啓発記事を掲載 ○圏域町村との合同研修会の実施 ⇒構成市町村の空き家対策に係る担当職員を対象に、各市町村が抱える空き家問題について検討、情報交換を行った（R3.11.18） <p>R3 年度決算額 352 千円 R4 年度予算額 2,216 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：空き家活用・住みかえ支援事業

事業内容	空き家の利活用や流通促進を図るため、相談体制の拡充や補助事業の実施、空き家ポータルサイトの運営等に取り組む。
担当課	市街地整備課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家に関する相談体制の拡充 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ○市民向け相談会の開催 ○空き家再生事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ・空き家ポータルサイトの運営 ・空き家対策に関する PR 動画制作



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家に関する相談体制の拡充 ⇒相談受付：25件 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ⇒R3年度：交付決定6件、交付額321,000円 ⇒R4年度：交付決定1件、交付額50,000円 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ⇒協定に基づく取り組み内容を広報はちのへやチラシにて周知 ○市民向け相談会の開催 ⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の実施（施設閉館）に伴い中止（令和4年2月2日開催予定） ○空き家再生事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ⇒調査地区：三八城（中心市街地の一部、売市、城下、沼館）、白銀地区の一部 空き家候補数：313件 ・空き家ポータルサイトの運営 ⇒空き家バンク新規登録物件数：15件 ⇒空き家ポータルサイト（はちのへ空き家ずかん）総アクセス数：107,516pv（11,946pv/月） ・空き家対策に関するPR動画制作 ⇒空き家対策事業に関するPR動画：1本制作・公開 ⇒空き家バンク掲載物件の紹介動画：7本制作・公開 <p>R3年度決算額 505千円 R4年度予算額 38,615千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 8-4

市民と共に創る「市民目線のまちづくり」を目指して、「(仮称) 市長との公民館サロン」を開設し、開かれた市政を実現します。

事業 1： 市長との公民館サロン開催事業

事業内容	「市民目線のまちづくり」の実現のため、地域の現状や課題、市政状況等について相互理解を図るとともに、課題解決や振興策について市長と地域住民が気軽な雰囲気の中で対話をする場を設ける。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	<p>市長が直接地域に出向き、必要に応じて現地視察を行いながら、地域を知り、地域とともに課題解決に取り組むため、地域代表者と意見交換を行う。</p> <p>① 市長と地域住民の代表者 10 名程度が車座になり、顔の見える距離で、形式にとらわれない気軽な雰囲気の中、開催地域から提案を受けたテーマについて意見交換を行う。</p> <p>② 公民館で開催し、2年で市内 24 地区公民館の所管区域を一巡する。</p> <p>③ 意見交換の内容は担当課へ共有し、その後の対応状況を取りまとめる。</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>○公民館サロンを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田面木 (令和4年4月26日) ・湊 (令和4年5月16日) ・根岸 (令和4年6月3日) ・館 (令和4年6月28日) ・南郷西 (令和4年7月8日) ・島守 (令和4年7月19日) <p>R3 年度決算額 -</p> <p>R4 年度予算額 150 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

政策9 経営感覚を持った行財政運営

重点施策9-1

持続可能な財政運営に向け、大型公共施設の維持管理コストと財源の見通しを公開し、併せて施設の有効利用を図ることにより費用対効果を高めます。

事業1： 公共施設マネジメント推進事業（再掲）

事業内容	公共施設の適切かつ効率的・効果的な管理運営を推進するため、公共施設マネジメントの推進に係る基本方針に基づく取組を推進するとともに、大型公共施設の維持管理コストの見える化に取り組む。
担当課	行政管理課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○基本方針に基づくマネジメントの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・施設カルテの更新 ・個別施設計画の進行管理にかかる検討 ・先進地事例収集 ・研修会の開催 ○大型公共施設カルテの公表



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市公共施設マネジメントの推進に係る基本方針の改訂（令和4年4月） ・個別施設計画の進行管理表取りまとめ（令和4年6月） ・公共施設オンラインセミナーの開催（令和4年7月1日） →参加者：施設所管課担当者7名 ・施設カルテ（430施設）を更新（令和4年8月1日） <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 164 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策9-2

市長と市職員との活発な意見交換を通じ、行政組織をより活性化させ行政改革と市民サービスの質の向上につなげます。

事業1：行政組織活性化事業

事業内容	市民サービスの質の向上を図るため、行政組織を活性化させる取組を進める。
担当課	人事課
取組詳細	○市長が掲げる政策を職員に浸透させるため、職員研修において、市長講話や意見交換会等を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修において、市長講話又は意見交換会を実施 ①新採用職員前期研修（令和4年4月） 市長講話及び政策に対する市長との意見交換 ②班長級研修（令和4年4月） 市長講話 ③補佐級研修（令和4年6月） 市長講話 ④課長級研修（令和4年7月） 市長講話 ⑤主査級研修（令和4年8月） 政策提案発表会（市長から講評） R3年度決算額 - R4年度予算額 0千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策9-3

民間企業との交流をより推進し、経営感覚やスキルを取得することによって、八戸市のまちづくり経営の事業や施策に反映させます。

事業1：民間企業との交流事業

事業内容	市職員のまちづくりに関する企画立案能力の向上を図るため、民間企業の有する経営感覚やスキルを学ぶ機会を設ける。
担当課	人事課
取組詳細	○参加可能な民間研修会への参加



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	・民間が主催する研修会の中で、職員が参加可能な研修会を調査し、参加について検討 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

重点施策9-4

健康増進、子育て支援などの機能を備えた市民向けアプリを開発し、市民満足度の向上を図ります。また、アプリに市民の意識や満足度を把握できる機能も備えることで市政の改善に活かします。

事業1：健康はちのへ21ポイントアプリ事業

事業内容	健康寿命の延伸を図るため、市民が楽しく健康増進に取り組むことができるスマートフォン向け健康アプリを導入する。
担当課	保健所 健康づくり推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○アプリの導入準備 ○アプリの運用(令和4年度予定) ○アプリの周知



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ等開発委託業者選定のための公募型プロポーザル参加者募集。 (令和4年6月～7月) ・アプリ等開発委託公募型プロポーザルを実施し、委託契約予定業者を選定。 (令和4年7月) <p>R3 年度決算額 - R4 年度予算額 12,000 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—

事業2：子育て支援アプリ事業

事業内容	子育て情報の取得に係る負担軽減のため、子育てに必要な多種多様な情報を手軽かつ効果的に取得できるスマートフォン向け子育て支援アプリを導入する。
担当課	子育て支援課
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○アプリの導入準備 ○アプリの運用(令和4年度) ○アプリの周知



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始に向け、アプリサービス内容検討 ・関係課会議 (R4.6月) ・名称選定、契約準備等を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・8/19 運用開始 →アプリ名：子育てアプリ はちも 機能：予防接種スケジュール管理、子どもの成長記録、子育て情報・地域のイベント等のプッシュ通知、子育て施設検索、アンケート機能 等 <p>R3 年度決算額 -</p> <p>R4 年度予算額 550 千円</p>
	2年目	—
	3年目	—
	4年目	—